

評価結果概要版



平成30年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人多摩大和園
事業所名称	サービスセンターやまと苑
事業所所在地	東京都東大和市狭山2丁目1264番5号
事業所電話番号	042-563-8163

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1) 私たちは、地域の人々が、安心して、輝いた人生を実現できるよう、慈悲のところで支援します。 2) 地域の皆様の声をもとに、安心して利用できる福祉の拠点を創造し、地域と共に歩みます。 3) 人権・人格を尊重し、慈しみと思いやりの心で、一人ひとりを大切に支援を行います。 4) 法令及び社会的規範を遵守し、情報開示を積極的に行い、公正で透明な経営をいたします。

全体の評価講評

特に良いと思う点

・ **利用者のプライバシーや羞恥心に配慮すると共に、虐待の防止に努め、利用者の気持ちに寄り添った支援になるように常に心がけている**

利用者のプライバシーや羞恥心に配慮した支援を常に心がけている。排泄や入浴等は希望に応じて同性介助を実施し、声かけのタイミングにも気をつけ、利用者の意思を尊重して必ず事前の同意を得てから支援を行っている。カーテンだけではプライバシーは守られないのではとの声を受け、カーテンに加え各トイレにドアを付ける等改善も迅速に行っている。接遇向上に努め、虐待の芽チェックシートを活用して年2回振り返りを実施し、虐待に繋がる恐れのある言葉や態度には職員の自覚や注意を呼びかけ、利用者の気持ちに寄り添った支援となるよう努めている。

・ **利用者一人ひとりの日常生活動作を高めるように専門職の連携で様々な工夫を行い利用者が楽しんで参加できるプログラムを作成している**

機能訓練は、個別機能訓練計画書に基づき実施し、アクティビティと連携して楽しみながら体を動かすことによって身体機能の活性化を図っている。機能訓練指導員は利用者の目線で、一つ一つの動作の目的を納得が行くまで丁寧に説明して、利用者の活動・参加への意欲を高めている。また在宅での生活についても指導員が自宅を訪ねて、生活の動線状況に合わせた対応や環境面等助言をしている。毎月簡易評価を実施し、効果の検証や見直しを行っている。在宅生活継続は、利用者や家族にとっての願いである。思いを叶えるサービスに取り組み実践している。

・ **利用者の活動の幅が広がるよう、創意・工夫を重ねて利用者が生き生きとした生活を継続できるように支援に努めている**

年間を通して節分会、雛祭り、端午の節句、七夕祭り、納涼祭、敬老祝賀会など楽しい行事が催されている。また施設内の喫茶室を地域に開放して、在宅で生活を続ける利用者が地域住民として交流が持てる場となっている。苑では地域資源やボランティアと連携して利用者が主体となって楽しめるよう、趣味活動、創作活動やレクリエーション等、様々なプログラムを用意している。今出来ることは何か、職員は利用者が楽しみながら活動の幅が広がるよう、個別のレクや活動プログラムを創意・工夫を重ねて毎日の生活が楽しく張りのあるものとなるよう努めている。

さらなる改善が望まれる点

・ **利用者の多様化するニーズに対応できる体制づくりを目指し、中堅職員の更なる充実・強化を図りたいと考えてい**

る

全職員が年度初めに個別研修計画や目標設定シートを作成し、育成計画や内外研修受講に有効活用している。受講した職員は報告書の提出を行い、確実な知識や技術の習得に努めている。しかし医療依存度の高い利用者の受け入れを積極的に進める中、職員からは実践的な介護技術向上等を望む声も上がっている。事業所ではこれらに携わる中堅職員の不足や育成が課題としている。今後は中堅職員が高い知識・技術を身につけて、業務の中や毎日のミーティングで経験の浅い職員への指導を行うことができるよう中堅職員の更なる充実・強化を図りたいと考えている。

・職員間での情報共有を確実なものにするため、様々な取組みを行っているが、更にチームケアを推進したいと考えている

職員間での情報共有をより確実なものにするため、申し送りや朝礼等の充実を図っている。日々の利用者情報は申し送り、パソコン上のケア記録や業務日報等に記録され、支援開始前の確認を必須としている。職員会は毎月2回に分けて開催し、全職員の参加が可能となるよう配慮されている。正職員会議やヘルパー会議、医務会議、送迎会議等の部門別会議も定期的に行われ、個別業務に関しても円滑に推進できるよう情報の共有化を進めている。更に勤務帯ごとに役割を再確認し、職員間のコミュニケーションに繋げてチームケアを推進したいと考えている。

・利用者それぞれの身体的負担や安全面に配慮した送迎を実施して、送迎時間についてはスケジュール調整を綿密に行いたいと考えている

利用者の心身の状態を優先して小型車で少人数の送迎をおこなっている。施設の方針として玄関から玄関までの送迎を基本としており、安全で快適な送迎を心がけている。送迎中に何かあったときのために運転手は、全員携帯電話を所持して連絡をするように義務付けている。サービス提供時間の見直しに伴い、送迎時間も見直している。利用者にとって負担の少ないコースを設定し、送迎ルートを工夫している。スケジュール調整を綿密に行うことで、家族の了解を得られるように取り組んでいきたいと考えている。

事業者が特に力を入れている取組み

・職員の意見や提案を事業所運営や利用者支援に反映するよう努めている

職員の意見や提案等を事業所運営や利用者支援に反映するよう努めている。事業計画書作成にあたっては、全職員にアンケートを実施し、集計・分析の上、事業計画策定会議で取上げ、検討・決定している。各種会議でも課題の抽出や検討を重ねており、職員の意見や提案が事業計画作成に反映される仕組みになっている。事業計画書には基本的サービス方針をはじめ、基本的サービスプログラムには午前・午後の活動のサービス内容や各支援について細かく立案されており、日々の業務の運営マニュアルとしても活用されている。職員の意識向上にも繋がっている。

・感染症への対策を徹底して行い、職員間の周知・意識向上に努めている

感染症予防・対応については、来所時のうがいや手洗い、消毒薬の使用等を徹底している。毎朝、家族からの連絡ノートの確認や看護師により体温、血圧などのバイタルチェックをし、利用者の顔色など、健康状態の把握に努め、感染症の持ち込み防止に努めている。職員は送迎時と帰る際にもマスクを取り換えている。感染症予防対策等各委員会を中心に感染症への対策も徹底して行い、この3年間インフルエンザは発生していない。また機会があるごとにミーティングや研修により感染症の知識や事例検討を行い、職員への周知や意識向上を図っている。

・様々な工夫をして利用者が楽しく食事が味わえるよう環境を作っている

食事を生活の楽しみの一つとして選択食や行事食に工夫を凝らしている、年に二回利用者嗜好調査を全体と個別に実施している。調査内容のご飯の炊き方、味噌汁の味付け、副食の組み合わせ、味付け、量等で一人ひとりの把握に努めている。利用者の体調に合わせて食事の形態を替えたり、量を調整し無理なく摂取出来るよう工夫をしている。BGMは毎月季節感のある曲を選曲し、利用者懇談会の際にも希望を聞き世代に合った音楽を流している。また目の前で握りたての寿司を提供する等、様々な工夫をして利用者が楽しく食事が味わえるよう環境を作っている。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

50/66

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	86.0%	14.0%	いいえ : 0.0% 無回答・非該当 : 0.0%
2. 食事の献立や食事介助は満足か	76.0%	24.0%	いいえ : 0.0% 無回答・非該当 : 0.0%
3. 利用者が必要と感じた介助が提供されているか	94.0%	6.0%	いいえ : 0.0% 無回答・非該当 : 0.0%
4. 利用中の楽しみな行事や活動があるか	80.0%	14.0%	いいえ : 4.0% 無回答・非該当 : 2.0%
5. 個別プランに基づいた事業所の活動・リハビリは、家での生活に役立つか	76.0%	16.0%	いいえ : 4.0% 無回答・非該当 : 4.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	92.0%	8.0%	いいえ : 0.0% 無回答・非該当 : 0.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	98.0%		どちらともいえない : 2.0% いいえ : 0.0% 無回答・非該当 : 0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	86.0%	12.0%	いいえ : 0.0% 無回答・非該当 : 2.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	76.0%	18.0%	いいえ : 0.0% 6.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	92.0%	6.0%	いいえ : 0.0% 無回答・非該当 : 2.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	94.0%		どちらともいえない : 4.0% いいえ : 0.0% 無回答・非該当 : 2.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	82.0%	12.0%	いいえ : 0.0% 6.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	86.0%	12.0%	いいえ : 0.0% 無回答・非該当 : 2.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	82.0%	6.0%	いいえ : 2.0% 10.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	60.0%	24.0%	いいえ : 2.0% 14.0%

評価結果概要版



平成30年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人多摩大和園
事業所名称	サービスセンターさくら苑
事業所所在地	東京都東大和市桜が丘2丁目122番4号
事業所電話番号	042-566-3910

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	<ol style="list-style-type: none">1) 私たちは、地域の人々が安心して輝いた人生を実現できるよう慈悲の心で支援します。2) 地域の皆様の声をもとに、安心して利用できる福祉の拠点を創造し、地域と共に歩みます。3) 人権・人格尊重し、慈しみと思いやりの心で一人ひとりを大切にされた支援を行います。4) 法令及び社会的規範を遵守し、情報開示を積極的に行い公正で透明な経営をいたします。5) 人材の育成、内部牽制体制の確立、守秘義務の厳守。

全体の評価講評

特に良いと思う点

・趣味活動や機能訓練、各種イベントは、自由に選択ができ楽しみながら行える取組みが多く、利用者の活動範囲を広げ、自主性を促している

ボランティアによる趣味活動の提供や機能訓練機器の充実、レクレーションや体操など、多彩な内容の活動を企画している。大型スクリーンを使用してのDVD映画鑑賞会も利用者が楽しみにしている企画の一つである。利用者が自由に活動内容を選択できる環境であるため、自主性を促すことができ主体性を引き出している。また施設で作成した作品類を福祉祭や作品展へ出展をしており、利用者のさらなる活動意欲の向上にもつながっている。休息をしたい場合を考慮して定時にお茶の時間を設けたり、静養もできる環境もあり、利用者に安心感を与えている。

・利用者の権利を擁護しその人らしい生活や価値観を尊重した支援をすることにより、利用者や家族の満足度は高い

通所事業所での生活は家庭の生活の延長であり、利用者の自由が最大限尊重されている。日常の支援にあたっては利用者の意思を尊重し、価値観やその人らしさを可能な限り引き出している。虐待防止や人権擁護研修にも力を入れ、あらゆる生活の場面において利用者の意思は尊重され、人生の先輩であることを常に意識した取組みが徹底されている。利用者アンケートでも「職員が利用者の気持ちを大切にしながら対応してくれているか」の問いに対し、61名中58名（95%）が「はい」と答え利用者の意思、意向を尊重した支援を実践している事が窺える。

・食事サービス向上のための追求を施設全体で行っており、食に興味を持ち楽しみにしている利用者が多い

栄養課を中心に施設内の専門職が連携を取りながら、利用者に喜んでもらえるよう食の楽しみの充実に取り組んでいる。月2回開催している栄養ケアプラン会議では、管理栄養士、ケアマネジャー、相談員、看護師、介護職員が参加をしており、関係職種での情報共有が図られている。食の提供においては利用者が飽きないよう、新規メニューの提案や郷土食、選択食など工夫を凝らした内容である。また給食委託業者との連携も密に行われ、食量低下の問題があった場合、利用者の嗜好にも配慮をした食事内容の調整を行うなど満足の得られる対応を実践している。

さらなる改善が望まれる点

・ケアの専門性を活かした地域還元活動、園児との交流や家族間の交流の基点等、地域との接点を持つ機会をより多く設けたいと考えている

市内で最初に開設されたデイサービスで地域に開かれた事業所としての取り組みを進めている。家族や地域の方を招いて行事を催したり、ボランティアの積極的な受入れ等、地域との良好な関係作りの中から、地域福祉の拠点として事業所のあるべき姿を目指している。アイデア溢れる工夫を凝らした取組みが多い反面地域への情報、アピール不足を感じている。引き続き納涼祭など開かれた雰囲気作り、趣味活動のアピール、地域の保育園や学校との交流、家族間の交流の基点となる場の設置などを今まで以上に広めていきたいと考えている。

・**安全性と効率性を考慮した送迎に向けて、安全運転委員会とともに今後も継続的なドライバーミーティングの開催が必要と考えている**

日々の送迎において、安全性と効率性に配慮をして利用者の負担を減らし、安心して乗車できるような取り組みを行っている。その一つとして昨年度実施することが出来なかったドライバーミーティングを今年度は開催した。ドライバー以外にも添乗員の職員も参加をして、危険箇所の把握や送迎コースの見直しについてなど話し合わせ、利用者の安全と安心を第一とする意識統一が図られている。また年1、2回程度の送迎コースの見直しや送迎車両数の適正化、業務の効率化等の課題を検討している。今後も継続的なミーティングの開催が必要と考えている。

・

事業者が特に力を入れている取り組み

・**郷土食や選択食などの食イベントを通年行っていて、食事サービスの向上を図っている**

毎月実施している郷土食や選択食の他にも、月1回の新規メニューや調理師の得意メニューを提供する調理師メニューなど、幅広く様々な食への取り組みを行っている。献立に季節感や変化を持たせ、生活の場としての食事サービス向上を図りつつ、食の楽しみの充実に取り組んでいる。これらの活動が評価され東京都福祉保健局より、平成30年度東京都特定給食施設等栄養改善知事賞を受賞した。施設職員と委託給食業者との連携も良く、管理栄養士を中心に相談員や看護師、介護職員が他職種協働で食への向上に取り組んでいる。

・**近年改修した個浴が好評であり、常に安心して入浴ができる環境整備を行っている**

入浴を楽しみにしている利用者は多い。そのため安全面と衛生面の確保には力を入れている。給湯の安定した確保のため、ボイラーの他に大型のガス湯沸かし器を設置。またレジオネラ対策のため毎日数回、塩素残留濃度測定を実施。その他不定期に水質管理も行っている。平成30年1月改修後に新たに導入した個浴が大変好評である。快適に入浴の時間を楽しんでもらえるよう、菖蒲湯や柚子湯などを取り入れている。窓から眺めた景色も季節感が現れる風景である。入浴前には職員がシャワーの蒸気で床を温めることも実践しており安全と安心への意識が高い。

・**多様な趣味活動や映画鑑賞など、自由に選択できる取組みが多い**

フロアが広く余裕のある空間の中で日中活動を行っていて開放感がある。体操は午前と午後の2回は必ず実施し、曜日ごとにボランティアによる趣味活動を開催している。活動時に作成した作品や書道を地域イベントに出展することで、日中活動の意欲向上につなげている。映画鑑賞は食堂ラウンジに設置した大型スクリーンを使用することで、映画館に近い臨場感を作り出している。施設内には上映予定の作品のポスターが貼られていて、利用者の楽しみをさらに増幅する工夫をしている。これらの活動は自由参加となっていて、利用者の自主性を尊重している。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

61/97

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	80.0%	16.0%			いいえ：3.0% 無回答・非該当：0.0%
2. 食事の献立や食事介助は満足か	72.0%	19.0%	6.0%		無回答・非該当：1.0%
3. 利用者が必要と感じた介助が提供されているか	85.0%	6.0%			いいえ：3.0% 無回答・非該当：4.0%
4. 利用中の楽しみな行事や活動があるか	67.0%	19.0%	9.0%		無回答・非該当：3.0%
5. 個別プランに基づいた事業所の活動・リハビリは、家での生活に役立つか	59.0%	36.0%			いいえ：3.0% 無回答・非該当：1.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	83.0%	13.0%			いいえ：1.0% 無回答・非該当：1.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	90.0%	9.0%			いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	86.0%	6.0%	6.0%		いいえ：0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	65.0%	22.0%	9.0%		いいえ：1.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	95.0%				どちらともいえない：4.0% いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	78.0%	14.0%	6.0%		いいえ：0.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	86.0%	9.0%			いいえ：0.0% 無回答・非該当：3.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	78.0%	18.0%			いいえ：0.0% 無回答・非該当：3.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	68.0%	21.0%	9.0%		いいえ：0.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	49.0%	27.0%		18.0%	いいえ：4.0%

評価結果概要版



平成30年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人多摩大和園
事業所名称	東大和市高齢者在宅サービスセンターきよはら
事業所所在地	東京都東大和市清原1丁目1番地34号棟1階
事業所電話番号	042-590-1176

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	<p>1)地域の人々が、安心して、輝いた人生を実現できるよう、慈悲のこころで支援します。</p> <p>2)地域の皆様の声をもとに、安心して利用できる福祉の拠点を創造し、地域と共に歩みます。</p> <p>3)人権・人格を尊重し、慈しみと思いやりの心で、一人ひとりを大切にした支援を行います。</p> <p>4)法令及び社会的規範を遵守し、情報開示を積極的にを行い、公正で透明な経営をいたします。</p> <p>5)より質の高いサービスの提供を目指します。</p> <p>【きよはら運営方針】</p> <p>きらきらと、輝きのある、毎日を送ることのできる施設を実現いたします。</p> <p>よろこびと、悲しみを、共に分かち合えることのできる施設を実現いたします。</p> <p>はつらつと、生き甲斐のもてる日々を送ることのできる施設を実現いたします。</p> <p>らくに、気楽に楽しみを、一緒に見つけることのできる施設を実現いたします。</p>

全体の評価講評

<p>特に良いと思う点</p> <ul style="list-style-type: none">・職員の意見や提案が運営や支援に反映される仕組みとなっており、職員の意欲や意識向上に繋がっている <p>年度目標、重点項目、基本的サービス・プログラムを明確にした事業計画が具体的に策定されている。計画策定ではアンケートを実施して、職員全員の意見をまとめ、策定会議で検討や決定を行っている。各委員会や会議でも課題の抽出や検討を重ねて、職員の意見や提案が計画策定に反映される仕組みとなっている。利用者の自立や自己決定を促す「選択」のキーワードも職員からの提案による等、前向きな意見や提案も多く寄せられている。事業計画に参画することで職員が常に問題意識を持って業務にあたることを促し、意欲や意識向上にも繋がっている。</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者一人ひとりの意思の尊重と自己決定を促す自立支援を念頭に、利用者担当制を設けて利用者一人ひとりにあつた手厚い支援を行っている <p>利用者一人ひとりの意思の尊重と自己決定を促す自立支援を念頭に、選択をキーワードとしたサービスの提供に取り組んでいる。食事をはじめ、レクリエーションや趣味活動等、その日の利用者が自身の意向に従って活動に参加するか否か、またどの活動に参加するか等を「選択」できる仕組みを作っている。また利用者担当制を取り入れることで、職員はそれぞれの担当利用者の心身状況や利用者が置かれている環境等様々な情報や意向・要望等を把握し全職員が通所介護計画書に関わる意識が高まった。通所介護計画書を共有し利用者の自発性の向上に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域住民との交流を大切にした支援に努めて、利用者の楽しみな生活の一部として、地域の拠り所として根ざしている <p>多くの人々が訪れて利用者と交流している。アクティビティとして活動している編み物や押花、書道、畑の手入れ等はボランティアにより利用者の生活にハリと潤いを与えている。コーラスグループやギターの演奏会等の訪問もあ</p>
--

り利用者の楽しみな行事になっている。施設の盆踊りや餅つき大会には近隣の住民も参加し盛大に行っている。近隣の中学生、保育園児の来所等の異世代間交流も盛んになっている。施設に通うことが、楽しみになっていた利用者が、亡くなる前日に立ち寄ったこともある。利用者の生活の一部として、地域の拠り所として根ざしている。

さらなる改善が望まれる点

・地域の福祉拠点として、災害時等でサービス提供が継続できるよう、事業継続計画の策定を進めたいと考えている

地震や火災等を想定しての訓練は毎月実施されている。感染症対策も徹底して行い、開設以来食中毒やノロウイルス、インフルエンザ等の発生や蔓延等は起きていない。職員はヒューマン・エラーパターン・チェックリストを用いて自己の陥りやすいエラーを自覚することで、事故を回避し、再発防止に繋げている。事業所としてはリスクに対し、様々な検討を重ね、対応や対策を図っているが、まだ事業継続計画として策定には至っていない。地域の福祉拠点として、災害時等でサービスの提供が継続できるよう事業継続計画の策定を進めることを考えている。

・職員の介護計画に沿った視点で課題分析を行い、考察することで質の高い記録を目指している

利用者個々の状況に合わせて、丁寧な対応を心掛けて実践している。介護計画に沿ったサービス提供ができるよう努めて、援助目標に対して利用者の様子と介護過程から具体的な支援方法を見出し、記録するよう指導している。ただ十分には介護計画書の内容と自身の行っている支援内容を意識化できていない為、記録内容の焦点が定まっていない現状も見られる。引き続き職員の介護計画に沿った視点で課題分析を行い、考察することで質の高い記録を目指している。職員個々の洞察力・対応力が養われるように記録の充実を図りたいと考えている。

・帰りの送迎の待機時間の過ごし方を有意義な時間に使いたいと考えている

楽しく過ごせるよう、どの場面でも明るく利用者に声かけをして、職員の対応は丁寧で素晴らしいと利用者や家族からの評価は高い。日中のアクティビティの際も利用者の中に入って一緒に作業している場面でも、笑顔を絶やさず支援をしている。利用者調査の家族の言葉の中にも大変よく対応してくれて感謝をしているという声が多い。しかし、帰りの送迎の待ち時間にする事がなく利用者だけでほとんどの人は座っているだけなので、「ヒマ」と言う方も多い。職員も手薄な時間ではあるが、何か皆でゲーム等をして関わることがあれば良いと考えている。

事業者が特に力を入れている取り組み

・利用者自らの意思に沿って活動参加が「選択」できるようにしている

利用者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行うため、意見や要望等が出やすい環境作りに努めている。年間を通して様々なレクリエーションや趣味活動等を行っているが、「選択」をキーワードにして、その日の利用者が自らの意思に沿って活動参加が選択できるようにしている。利用懇談会を定期的で開催して、利用者全員の送迎、食事、趣味活動など要望を把握する他、日常での個々の相談や要望等にも気軽に応じている。食事に関しても自分の好みにあったものが食べられるよう週3回献立の選択可能日を設けており、利用者から高い評価を得ている。

・食事の時間を大切に郷土食・選択食等利用者が楽しむことが出来る献立を工夫している

食事は利用者の楽しみな大切な時間と考え、栄養バランスのとれた、美味しい食事の提供を追求している。食堂には、テーブルに一輪挿しを置きレストランのような雰囲気を作り、食堂の出入り口にうどんや蕎麦、ラーメン等ののぼりを立て楽しさを演出している。週3日主菜の選択食を実施し、好みに合わせて自由に選べる他、毎月の郷土食・フレッシュ献立や行事食、年3回の蕎麦を楽しむ日等を実施している。また安心して食事が出来るよう、焼き魚は骨抜きのもので普通にも骨のあるものを用意し、見た目は同じでも骨による誤嚥が無いよう工夫している。

・アクティビティに機能訓練を取り入れ利用者が楽しく参加出来るよう工夫している

機能訓練は全体でおこなう訓練と個別のプログラムでおこなう訓練があり、全体でおこなう訓練にはレクリエーション的要素を取り入れ、楽しく活動が出来るよう工夫している。訓練にはつかまり体操やセラバンド体操があり、職員の声掛けで皆で楽しそうに体操をしていた。個別のプログラムの中にはペットボトルのキャップを開け閉めして指先の力をつける訓練や体幹を保持するために下肢の筋力の強化を図る訓練、平行棒での歩行訓練等利用者一人ひとりの課題に合わせて設定している。日常生活動作の向上を図るために丁寧に目的を説明して訓練を実施している。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

34/69

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	85.0%	8.0%	5.0%	無回答・非該当：0.0%
2. 食事の献立や食事介助は満足か	97.0%			どちらともいえない：2.0% いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%
3. 利用者が必要と感じた介助が提供されているか	85.0%	8.0%		いいえ：2.0% 無回答・非該当：2.0%
4. 利用中の楽しみな行事や活動があるか	67.0%	26.0%		いいえ：2.0% 無回答・非該当：2.0%
5. 個別プランに基づいた事業所の活動・リハビリは、家での生活に役立つか	70.0%	29.0%		いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	82.0%	17.0%		いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	88.0%	11.0%		いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	82.0%	17.0%		いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	79.0%	14.0%	5.0%	いいえ：0.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	88.0%	11.0%		いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	82.0%	11.0%		いいえ：2.0% 無回答・非該当：2.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	85.0%	14.0%		いいえ：0.0% 無回答・非該当：0.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	73.0%	23.0%		いいえ：0.0% 無回答・非該当：2.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	76.0%	14.0%	8.0%	いいえ：0.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	67.0%	20.0%	8.0%	いいえ：2.0%